

渡島大島

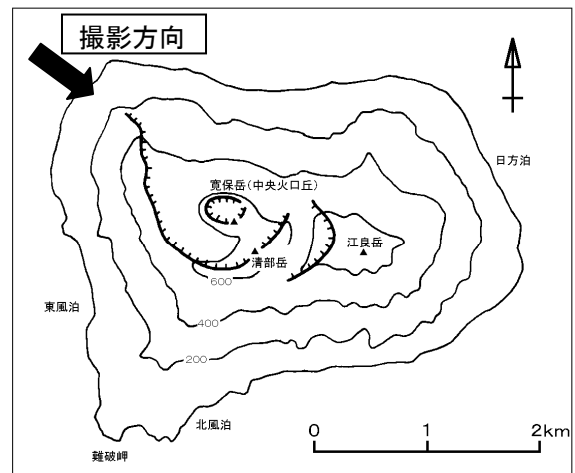
1 概況

火山活動は静穏な状態です。

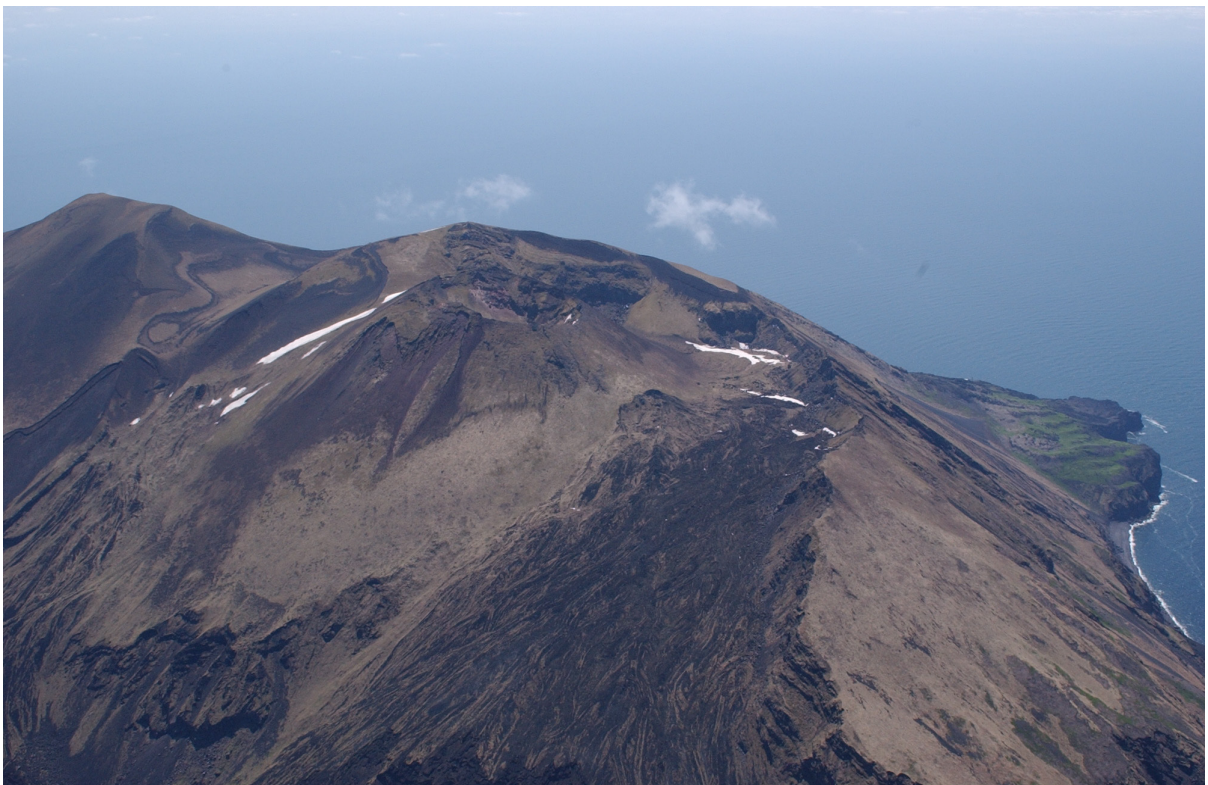
2 上空からの観測結果

5 月 4 日に第一管区海上保安本部が上空から行った観測によると、噴気は確認されず、特に変化は認められませんでした。

その他、火口周辺の形状等にも特に変化はありませんでした。



渡島大島 地形図



北西側上空から撮影した渡島大島の山頂部（5 月 4 日撮影 提供：第一管区海上保安本部）

参考：

渡島大島の山頂部には中央火口丘（寛保岳：標高 648m）があり、径約 200m×300m、深さ約 70m の火口があります。この火口内壁には 2 か所の地熱地帯が知られています。1991 年（平成 3 年）に札幌管区気象台が実施した機動観測では、火口南東部の地熱地帯で最高 77℃、北部の地熱地帯で最高 38℃（地中温度深さ 10cm）を観測しています。また、南東部の地熱地帯ではごく弱い噴気が認められています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）